

## 北イタリア治安情勢通報

### ～経済活動の再開に伴い、人、物、金、泥棒も動き出す。外出前に防犯対策の確認を～

5月18日（月）、新型コロナウイルス感染拡大防止策にかかる緊急政令及び首相令により、同一州内における移動制限措置が解除されたほか、レストランや小売店が再開いたしました。

街中に人が戻ることに伴い、これまで活動の自粛を余儀なくされていた泥棒も動き出すことが予想されます。

外出が増えるこの機会、昨年の犯罪発生状況を振り返り、事後の防犯対策に役立てていただけたら幸いです。

#### 1 2019年中の犯罪発生件数及び犯罪手口ワースト3

合計 182件（2018年比-18件） ※ 旅券盗難を中心に当館で把握したもののみ。

1位 スリ 124件    2位 置引き 27件    3位 車上狙い 11件

#### 2 主な犯罪手口及び防犯対策

※ 詳細は当館HPの「安全の手引き」をご参考ください。

[https://www.milano.it.emb-japan.go.jp/attached\\_docs/guida\\_anzen.pdf](https://www.milano.it.emb-japan.go.jp/attached_docs/guida_anzen.pdf)

##### (1) スリ

地下鉄電車・駅構内、観光地周辺、飲食店及び路上等で多発しており、窃盗団グループによる犯行が顕著であり、特に地下鉄の乗降時は要注意です。以下、被害が発生した時の主な状況です。

- ・ 複数の女性に囲まれ身動きがとれなかった時
- ・ 妊婦等に話し掛けられた時
- ・ 必要以上に身体を近づけられた時
- ・ 落とし物（小銭、メガネ、マフラー等）で注意をそらされた時

- ・ リュックサックを背負ったまま乗車していた時

#### 【アドバイス】

- スリ犯のターゲットとならぬよう努めてください。
  - ・ 華美な服装、装飾品は身につけない。
  - ・ リュックサックは前に抱え、ファスナーに鍵をつけることも有効。
  - ・ カバンはファスナー付きを選び、貴重品は外ポケットに入れることなく奥底に。また、体の前でファスナーに手を添えて持つ。
- 地下鉄乗車時はドアの近くに立つことなく、車両中程に入ってください。
  - ・ ドア付近は路線図を訪ね、気をそらせての犯行が行われたり、犯行後に降車が容易であること、また、座席に座っている乗客の目が届かないことなど、スリ犯が好むエリアです。

#### (2) 置き引き

ミラノ-ヴェネチア間等の長距離特急列車内、レストラン等の飲食店、ホテル、空港等で多発しています。

- ・ 声をかけられたり、床に小銭を落とされる等で注意をそらされる間に車両の座席、荷物棚に置いたカバンが盗まれる。
- ・ 列車の発車間際に荷物棚からスーツケース等を盗まれ降車される。
- ・ レストランで座席の背もたれ、空席の椅子に置いたカバンが盗まれる。

#### 【アドバイス】

- 貴重品の入ったカバン等は身体から離さないようにしましょう。犯人に目を付けられないよう、カバン等の手荷物は足下の両足の間、貴重品は上着ポケットや膝の上など置き、盗まれた場合に気づくよう、常に身体には触れさせておきましょう。
- 列車内では、旅券等の貴重品が入ったカバンは網棚に置かず、身の回りに携行しましょう。網棚に荷物を置く場合には目の届く位置に置き、また、大型荷物置き場にスーツケースを置く場合はチェーンロックを施すか、列車の発着時は目を離さないようにしましょう。

### (3) 車上狙い

高速道路サービスエリア（SA）、ミラノ市内の路上等で発生しています。

- ・ 飲食店駐車場等に駐車中のところ、窓ガラスが割られ貴重品を盗まれた
- ・ 運転中や停車中にタイヤがパンクしていると言われ、降車して確認した際に車内の貴重品を盗まれた

#### 【アドバイス】

- 車内に貴重品は、絶対に放置しないほか、貴重品の入っていないカバン等でも、車外から見える場所には置かず、トランク等に事前に収納しておきましょう。
- 乗車中も助手席等外部から見えやすいところに置くことなく、足下や後部座席の見えにくいところに置きましょう。パンクを知らされた場合は車上狙いの可能性を疑い、慌てることなく貴重品を必ず身につけてから降りましょう。パンクしても即走行不能になることはまれであり、安全な場所にゆっくり停車させましょう。

### 3 当館コメント

「ソーシャルディスタンス」が社会に浸透しつつある中、接触型の犯罪であるスリの敢行が従前より困難となることが予想されますが、コロナ禍の3月中には、在留邦人が一時帰国するため利用した長距離電車内において、泥棒グループの一人が小銭をばらまく手口により盗難被害が発生しました。

今後も巧妙な手口による犯行が予想されるほか、「成果」が上がらなければ、より凶悪なひったくりや強盗等の凶悪犯罪に移行することも懸念されます。引き続き、防犯対策には余念がないようお願い申し上げます。

本通報に関する問い合わせ先

総領事館代表電話：02-6241141 [info@ml.mofa.go.jp](mailto:info@ml.mofa.go.jp)